

2024.1.20 「神経セミナー その1」

1.今日のセッションの中で、一番心の中に残ったことを教えてください。

MMT で ALS の早期発見

土肥先生、黒川先生の講義はとても勉強になりました。黒川先生のお話に登場した園生先生は小生の中学校の同級生で旧友です。彼の MMT の本は愛読しており今日の講義はとても楽しくかつ実戦的ですばらしかったです。講義の後に MMT の本を読みなおして理解が深まりました。

MMT の筋肉と神経対応表とその使い方に関して

顔の麻痺を注意する。下垂指を知らなかった。

すべてとても充実しておりました。

手足の麻痺があれば、顔も調べる。

黒川先生の clinical pearl

普段なかなか神経診察の話聞けないのでよかったです。

痺れの部位で障害されている神経が同定できること

MMT は 5 か 0 かをみる

MMT 評価の方法。

神経学的検査の重要性

ALS の早期診断が可能なこと

脳梗塞の考え方斬新でした

MMT の取り方 それにより鑑別できること

黒川先生のチップスがとても面白かった

神経所見のとりかた

MMT の取り方について勉強になりました。

2024.1.21 「神経セミナーその2 午前部」

1.今日のセッションの中で、一番心の中に残ったことを教えてください。

脳梗塞の診方

杉田先生のセッションでのチャートがわかりやすかった

末梢神経障害の具体的な臨床症状について詳しく知れたこと（手根管症候群は感覚障害が先に来る、頸椎症性神経根症は首の痛みが先行する等）、発生学を背景とした神経支配や爪についての説明

山本先生のみんなの脳神経内科愛読しています。杉田先生のアリゲーターの絵がわかりやすかったです。

病歴と診察が大事。単神経麻痺と MMT(上下) T2 スタ－SAPT,DAPT,ESUS

杉田先生のレクチャーが臨床に沿って、わかりやすく有意義でした。

橈骨神経障害 物がつかめないとの訴え。 デルマトームについて。

しびれの鑑別

手根管症候群について

杉田先生の診察や鑑別が実地に即していて勉強になりました

2024.1.21 「神経セミナーその2 午後部」

1.今日のセッションの中で、一番心の中に残ったことを教えてください。

昨日から今日にかけてとても良かったです

てんかん mimics の鑑別（音成先生）

てんかん診療のむずかしさ

てんかんに overdiagnosis しすぎないようにしようと思った。

FTD のフィジカル

てんかん overdiagnosis しない。

全て素晴らしい講演でした。

安易にてんかんと診断してはいけない

発作の動画があったこと

山本先生、杉田先生、音成先生、松原先生、どの講義も内容盛りだくさんで素晴らしかったです。動画と資料であと2回は復習します。ありがとうございました。

脳卒中と認知症が良くわかった

3つのでんかんらしさの確認がとても大切であることがわかりました。認知症のお話がとてもわかりやすかったです。治療薬について本人家族により丁寧に説明することが大切とわかりました。

脳梗塞の診断治療の要約、四肢とくに上肢の神経所見のポイント、増加する高齢者のてんかん対策、レカネマブの現況など

土肥先生の神経診察のしかたの講義が実践的なお話で心に残りました

音成先生のてんかんはオーバーダイアグノーシスしないほうがいいと言われたこと

てんかんの鑑別